

れいてきな ちょうじょうに あがろう！

ミカ 7章 18～20節

あなたのような神が、ほかにあるでしょうか。あなたは、咎を赦し、ご自分のものである残りの著のために、そむきの罪を見過ごされ、怒りをいつまでも持ち続けず、いつくしみを喜ばれるからです。もう一度、私たちをあわれみ、私たちの咎を踏みつけて、すべての罪を海の深みに投げ入れてください。昔、私たちの先祖に誓われたように、眞実をヤコブに、いつくしみをアブラハムに与えてください。

神様の祝福を受けて契約の民として召されたイスラエルは、くりかえす奴隷生活、捕虜生活のために国をなくすほど、大きい困難をたくさん受けました。神様がくださったみことばを違うように受けて、福音をのがして、みことばと教会を宗教偶像にしたためです。ですから、みことばの流れがとぎれて、次世代に契約を伝えるレムナント運動が消えました。神様はその時ごとに、霊的にサミット（頂上）にいたヨエル、アモス、オバデヤ、ミカ、ナホム、ハバクク、ゼカリヤ、マラキのような預言者をたてられました。そして、神様のみことばを教会と指導者に伝えるようにさせられ、福音が回復することを願われました。

神様は今、私たちの現場を見ながら、同じ心を持っておられます。福音が消える教会、宗教偶像でいっぱいになるように変わって行く時代を見て悲しんでおられます。このとき、神様が私をこの時代の福音を伝える者として、祝福の主人公であるレムナントとして呼ばれました。そのような私にくださるみことば、祈り、伝道を毎日味わえば、祝福の証人として立てていけるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

父なる神様！私を時代を生かす福音を伝える者として、祝福の主人公として呼んでくださってありがとうございます。霊的サミットの祝福を味わって、現場を生かすことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



預言者ミカが、預言のみことばを言いました。そのみことばに従って、めいろをとおりましょう。



あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

かみさまが くださった 3つのまつりの けいやく

しゅつ エジプト
24章 16節

しゅの栄光はシナイ山の上にとどまり、雲は六日間、山をおおっていた。七日目に主は雲の中からモーセを呼ばれた。

イスラエルの民が守っていた、神様がくださった3つの祭りの契約があります。最初に羊の血を塗った日、エジプトの奴隷生活から抜け出すという、イエス・キリストの契約を握った過越の祭りです。二つ目、神様が与えられると言われた地であるカナンに入って守った初穂の刈り入れの祭りです。三つ目、イスラエル民族が穀物を刈り入れて倉庫に入れたのを記念した収穫祭です。収穫祭は、秋の収穫感謝祭とも言います。

この祝福を知っている人は世界を生かすことができます。神様がサタンから完全に解放されるように私たちに契約をくださいました。そして、苦しく、むずかしいと思える荒野のような道を行く間、落胆したり、失敗したりしないように神様が導いてくださいます。暑い太陽の下では雲の柱で、とても寒い夜には火の柱で、イスラエルの民を保護されたようにです。今日から「神様！聖書に記録された3つの祭りの契約が、いまは私を通して行く所ごとに成就しますように」と祈りましょう。契約を握った私を通して神の国が成されるでしょう。



きょうのみことば

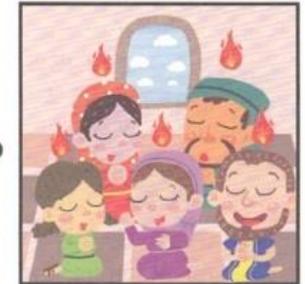
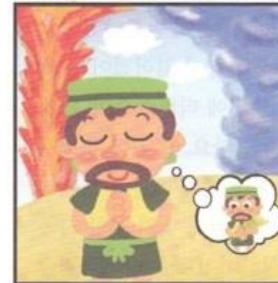


きょうのいのり 父なる神様！私が行くところごとに、神の国が臨んで、3つの祭りの契約が回復する答えを与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



あわせよう

3つの祭りについての絵です。合う絵を線で結びましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Grid area for the 'Today's Word' section.

Grid area for the 'Today's Prayer' section.

かみのくにの おくぎ

マタイ
13章 15～16節

この民の心は鈍くなり、その耳は遠く、目はつぶっているからである。それは、彼らがその目で見、その耳で聞き、その心で悟って立ち返り、わたしにいやされることのないためである。』しかし、あなたがたの目は見ているから幸いです。また、あなたがたの耳は聞いているから幸いです。

聖書のみことばの中には、天の御国の奥義を知らせる内容があります。しかし、この奥義はだれもが知ることができるのではないと言われています。それゆえ、目で見て知って、耳で聞いて、心で悟れることは、とても大きな祝福なのです。ある日、イエス様も弟子たちに種をまくたとえを使って言われました。種をまく者が種をまいたのですが、道ばた、岩地、いばらの中と良い地に落ちました。道ばたに落ちた種は鳥がきて食べてしまって、岩地に落ちた種は太陽の光で焼けてしまい、いばらの中に落ちた種はふさがってしまいました。このたとえの意味は、次のとおりです。道ばたにまかれた種は、みことばを聞いて悟ることができない者で、岩地にまかれた種は患難や迫害のためにつまずく者を、いばらの中にまかれた種は世の中の心配と物質の誘惑にだまされて実を結ぶことができない者を意味します。しかし、良い地に落ちた種は、みことばを聞いて悟って実を結んで、100倍、60倍、30倍の実を結ぶ者です。このように、神様は正しい福音を握っている者を必ず勝利するようにしてください。私はどんな地になりたいですか。今日、私の心が神様が願われる地になるように祈りましょう！

きょうのみことば

きょうのいのり 父なる神様！私の心が良い地ようになって、みことばを受けるとき、100倍、60倍、30倍の実を結ぶ恵みを、より増し加えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



私がとてもすきなみことばを、心の良い地に記録しましょう。
神様は、100倍、60倍、30倍の実を結ばせてくださるでしょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぎょう
準備する資料

Grid area for writing names and preparation materials.

わたしは なぜ うまくできないのですか

使徒
11章 2～3節

そこで、ペテロがエルサレムに上ったとき、割礼を受けた者たちは、彼を非難して、「あなたは割礼のない人々のところに行って、彼らとっしょに食事をした」と言った。

「私は神の子どもなのに、なぜうまくできないのか」と悩んだことはありますか。その理由は、私の中に福音より他のものがさらに多いからです。イエス様の弟子たちも同じでした。ですから、イエス様が復活されて天に上られるときに弟子たちに「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。」(マタイ 28:19-20) という約束をくださいました。このように重要な約束を受けたペテロが、イタリヤ隊の百人隊長であるコルネリオの家に留まりながら福音を伝えました。ところが、その事実を知るようになったエルサレム教会の信徒たちは、「なぜ異邦人の家に入って行って、いっしょに食事をしたのか」と非難しました。「私たちが神様が選ばれた特別な民族」だと思いうイスラエルの選民意識のために起きたことでした。自分たちの誤った意識のために、イエス様が言われたことを忘れてしまったのです。

いま、私の中に福音より大きいことは何か考えてみましょう。そして「子どもの祈りの手帳」を通して福音を刻印して、根をおろして、体質になるようにまた挑戦しましょう。神様が願われる姿になるでしょう!

きょうのみことば

きょうのいのり

父なる神様! 私に福音を知る恵みをくださってありがとうございます。神様がくださった身分と権威で刻印され、根をおろし、体質となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



なやんでいます

3月のなやみはなんでしょう。



パク・ウヨン牧師夫人

なやみがあります!

友だちのことで悩んでいます。永遠な友だちがまだいません。

チョン・イエナ レムナント/セゲソンキョ教会

友だちがいないということですか。そうでなければ、永遠な友だちがいないということですか。

もし友だちがひとりもいないなら、親しくなりたい友だちに先に親切にして、正直に近づかなければなりません。「友はどんなときにも愛するものだ。兄弟は苦しみを分け合うために生まれる。」(箴言17:17) というみことばがあります。先に愛しながら近づいてこそ、友だちを得ることができるというみことばです。まわりに大小のことで苦しんでいる子に先に近づいて慰めて愛を与えれば、友だちを得ることができるのです。もし友だちを得るためにお金でプレゼントや食べ物あげて親しくなるとすれば、本当の友だちにはなれません。お金やプレゼントがなくなれば、その友だちは離れるからです(ルカ 15:12~17) また、私の利益のために「もし私が親しい友に悪い仕打ちをしたのなら、」(詩篇7:4) その友だちもやはり離れて行くでしょう。

福音にあって信仰の考えをして友だちを作りましょう。

友だちが先に私に近づいてくるのを待てば、友だちに会うのはむずかしいでしょう。また、人は信仰がなければ、自分の利益のために動くから、この地に永遠な友だちを期待することも難しいのです。ただイエス様だけがまことの友だちで、永遠な友だちですから、主を思いきり愛することに先に挑戦してみましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

24

このよのながれをかえるひと

きんようび

マタイ
16章 16節

シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける神の御子キリストです。」

神様は、私を世の中の流れを変え人として呼ばれました。つまり、福音のリーダーとして選ばれたのです。そのような人は問題を見る目が違います。同じ問題も違うように解釈します。解釈とは、ある行動を見たとき、その行動を判断して考えることを言います。世の中の流れを変える私たちは、どのように見なければならぬのでしょうか。

最初に、他の人々が見ることができない反対側を見なければなりません。ですから、イエス様はマタイの福音書で「心の貧しい者は幸いです」と言われました。心で神様を求めるからです。二つ目、人々の表面の姿でなく、中の姿を見なければなりません。ダビデは自分を困らせるサウル王が、悪霊につかれて苦労しているという中の姿を知って、サウル王のために祈りました。三つ目、世の中の流れを正しく見なければなりません。モーセは、神様がくださったみことばに従って、イスラエルの民を出エジプトするように導いて、エジプトにあった10の偶像文化を壊しました。私たちも、聖書に記録された福音のリーダーが、他の解釈をして受けた証拠をもって現場を見ましょう。福音のリーダーが持った正しい解釈をする目を開いてくださるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

父なる神様！私を福音のリーダーとして呼んでくださってありがとうございます。この世の流れを変える目を開いてくださり、この世を生かす伝道者の祝福を味わわせてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



次の絵は、聖書にある事件です。
ふつうの目を持ったヨセフの考えを、福音の目で解釈しましょう。

いっぱい書いてみよう

ふつうの目

「お兄さんたちが
ぼくに、こんなことを
するなんて。
みんな死んでしまえば
いい」

「ああ〜くやしい。
ぼくは神様の前で
罪を犯していないの
に…」

福音の目

「神様がお兄さんた
ちより先にぼくを
エジプトに送られた
んだな」

「ぬれぎぬを
着せられて監獄に来た
理由はエジプトを
生かすためだな

いまの私の問題を記録

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

25

かみさまの あい かみさまの めぐみ

どうぶ

ヨハネ
3章 16節

かみ じつ、そのひとりごをおとすにあたになつたほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

私がいちばん好きな人はだれでしょうか。また、私がいちばんきれいな人はだれでしょうか。人はだれでもすべての人が好きではありません。ところが、神様はちがいます。世の中のすべての人々を愛しておられるからです。賢い人もおろかな人も、裕福な人も裕福でない人も、健康な人も病気の人もみんな愛してくださっています。福音を知らないでさまよって、たましいが死んでいる人々を生かすために、ひとり子であるイエス様を送ってくださいるほどです。それだけではありません。神様のひとり子であるイエス様が十字架で血を流して死んで、キリストだという証拠で復活されました。

イエス・キリストを信じて救われるのは、神様が恵みをくださってこそできることです。救いは人のお金、名誉、健康など、どんな条件でももらえないことだからです。イエス様がキリストだという事実が信じられる私は、神様の愛と神様の恵みをたっぷり受けた祝福の人です。最も大きいプレゼントをもらった者です。その私の価値は、なににも変えることができません。今日から、その価値を味わいましょう！

きょうのみことば

きょうのいのり

父なる神様！私を愛して恵んで送ってくださいましたことをありがとうございます。私を救ってくださいました恵みをいつも覚えるレムナントになるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



私を救ってくださった神様の恵みを考えて、救いに対して感謝する手紙を書こう

かみさま
神様へ

レムナント より

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料
